



## レイアウトの工夫で、高齢者にやさしく 車いすでも使いやすいトイレへ改修。

改修された3F B病棟の女性用トイレは、車いすでも使いやすい動線が確保されている。回転スライドするアール型扉のトイレブースを採用し、点滴スタンドを持った患者さんなども安心してスムーズに入出入りすることができる。

1986年の開院以来、中長期入院の医療療養型病院として、地域を支えてきた新中川病院。その病棟の再編による改修工事が行われ、療養病床を増やすとともにゆとりと癒しのある新たな環境づくりが行われました。高齢者が安心して暮らせる町づくりに努める「高齢者を支える病院」が、全スタッフが大切にしている「気配り・目配り・思いやり」のモットーとともに、さらにホスピタリティの高い環境として生まれ変わっています。

### 限られた空間を有効に活用できるよう トイレブースにはアール型の扉を採用。

新中川病院では「病棟再編」を掲げ、合計病床数152床はそのまま、医療療養病棟の72床を114床へと変更。同時に食堂兼談話室、老朽化していたトイレ、汚物処理室の改修などを行いました。これによって、さらに「おもてなし」のある医療サービスに力を入れることができます。改修は病棟の3Fからスタートし、その後は2Fの改修へと進んでいます。

その3F病棟のトイレは、以前はカーテンで仕切られていた空間を大幅に変え、限られたスペースを有効に活用するアール型扉のトイレブースを採用。プライバシーを確保するとともに、車いすの患者さんが使いやすい空間へと変化しました。80代後半という平均年齢の高い患者さんと、そのご家族の安心を支える環境は、思いやりをさらに具現化したものになっています。



病棟には医療療養病棟と障害者病棟がある。



食堂兼談話室も快適な空間に改修された。

#### ■新中川病院 病棟改修工事

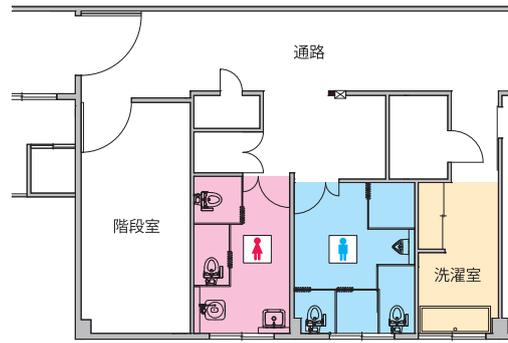
- 竣工年月 / 2014年9月～(改修)
- 所在地 / 神奈川県横浜市泉区池の谷3901
- 施主 / 医療法人社団 朋友会 新中川病院
- 設計・施工 / 株式会社理舎
- 病床数 / 152床



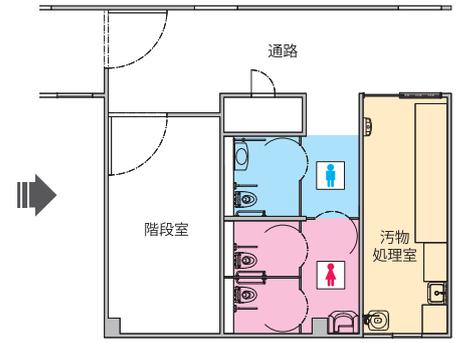
改修されたゆとりあるトイレブース内には、背もたれや跳ね上げ手すり、L型手すりなどを設置。男性用のブース内には手洗器も備えられている。

## トイレと汚物処理の 明確なエリア分けも実施。

改修前は、ベッドから移動してトイレを  
使える患者さんが少ないこともあり、  
女性用トイレは汚物処理にも使用され  
ていました。改修後はトイレと汚物処理  
室を分離し、清潔と不潔の明確なエリ  
ア分けも行いました。



Before 3F A 病棟トイレ平面図 改修前



After 3F A 病棟トイレ平面図 改修後



改修する前の2Fの男性用トイレ。車いすでは使いづらく、カーテンで仕切られているため、患者さんのプライバシーへの配慮が十分ではなかった。



改修された3F A病棟のトイレ。女性用トイレの出入口にもアール型扉が設けられている。



3F A病棟に設けられた汚物処理室。出入口近くに手洗器、奥に汚物流しが設置されている。

### Voice 院長先生からの声

心のこもったことを、病院のハード面にも広げているところです。



新中川病院  
院長  
福田千文さん

当院では、高齢者の療養環境を少しでも改善しようと、治療のしかたやお薬の服用のしかたを工夫するなど、今までさまざまな取り組みをしてきました。病院は、医者や看護師の目線ではいけません。患者さんの目線に立った「気配り・目配り・思いやり」が必要です。また、以前は接遇がブームで、必ず患者さんを「様」と呼びするような時期もありましたが、それをうれしいと感じるのは人それぞれ。そうした細かなところまで考えながら、私たちはソフトの面、心の面を充実させてきました。そして現在は、古くなった病院のハードのほうにも目を向け、設備や環境の手直しを行っているところです。改修においては、音の出る工事や水の止まる工事をいつ行うか調整するなど、スケジュールを準備して各所に通知しました。ですから、大きなトラブルもなかったですね。

### Voice 設計担当の方からの声

現場責任者の常駐もポイントです。



株式会社理舎  
東日本営業本部  
東京支店 課長  
蛭名洋基さん

全体の工程としては月曜から土曜までの工事で、1フロア45日くらいでした。鵬友会の湘南泉病院のほうでもお手伝いをしてご評価をいただいたのはうれしいです。今回も現場責任者を常駐で置いたことが、微調整などをスムーズに行うポイントになったと思います。

### Voice 事務部長さんからの声

木目調のデザインを生かして、癒される空間に。



新中川病院  
事務部長  
松田隆さん

改修では音の出る工事は昼間に短期集中的に行い、夜間は音の出ない壁紙の工事に当てるなど工夫しました。入院調整もなく、日常通りに行われましたね。デザイン的には、各所に木目調をあしらうことで、癒される空間になるよう心がけました。アール型のトイレブースの導入は、私が某所で見つけて「これはいい」と写メを撮ったのがきっかけでした。

### Voice 看護部長さんからの声

車いすでの動きが想定されたトイレブースですね。



新中川病院  
看護部長  
片桐恵美子さん

車いすは前には進みますが、横には動かないもの。従来のトイレブースの扉は、そんな動きまで想定されていません。新しいアール型の扉は、車いすでの利用に優しく、介助する人が挟まってしまうこともありません。扉が軽いのも、高齢者にとっては大きなメリットですね。工事を行うことは、事前に患者さんのご家族にもお手紙でご連絡差し上げました。